

128

197

くちなしの花続編

上

085876-001-0

128-197

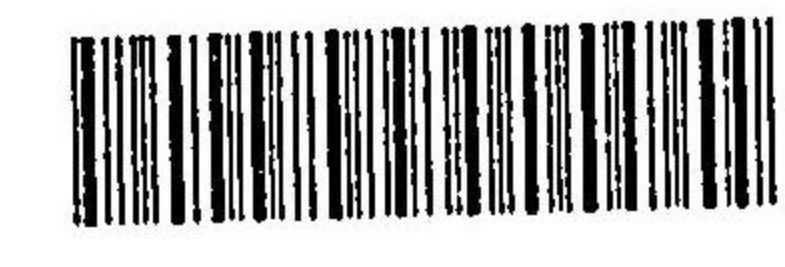
くちなしの花続編

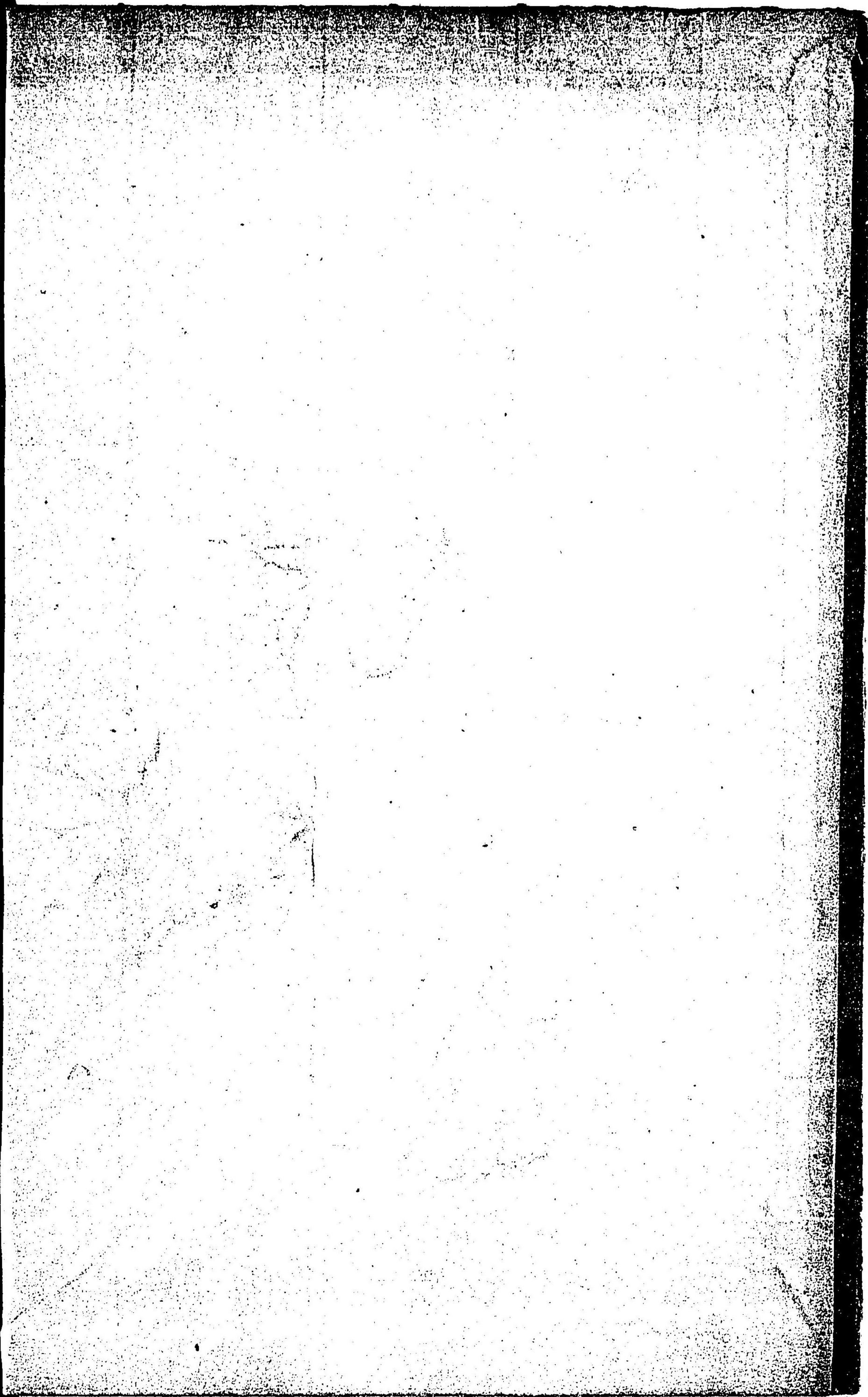
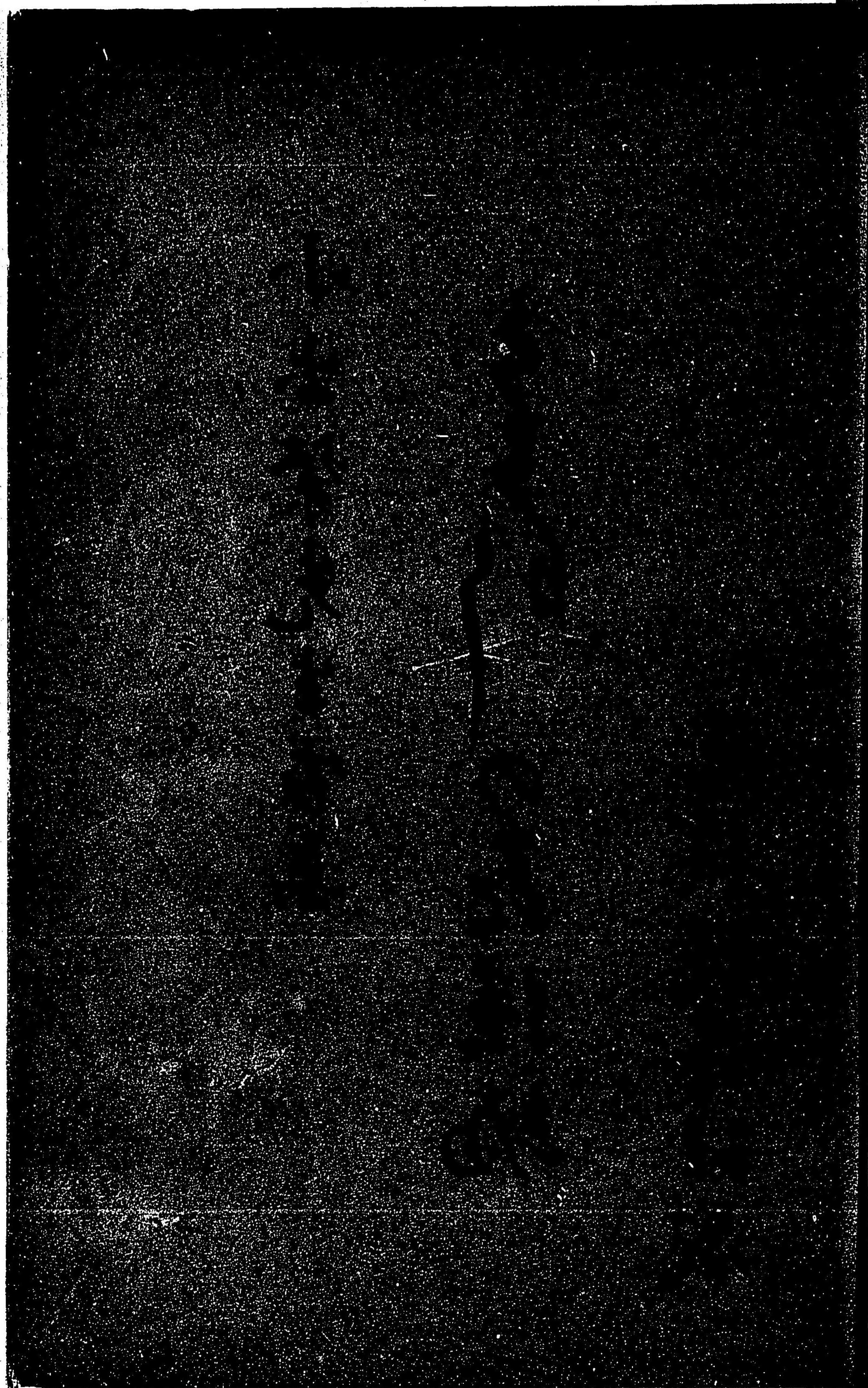
小出 榮/著

上

M32

DBD-0447





小出榮先生家集

多行の巻続編

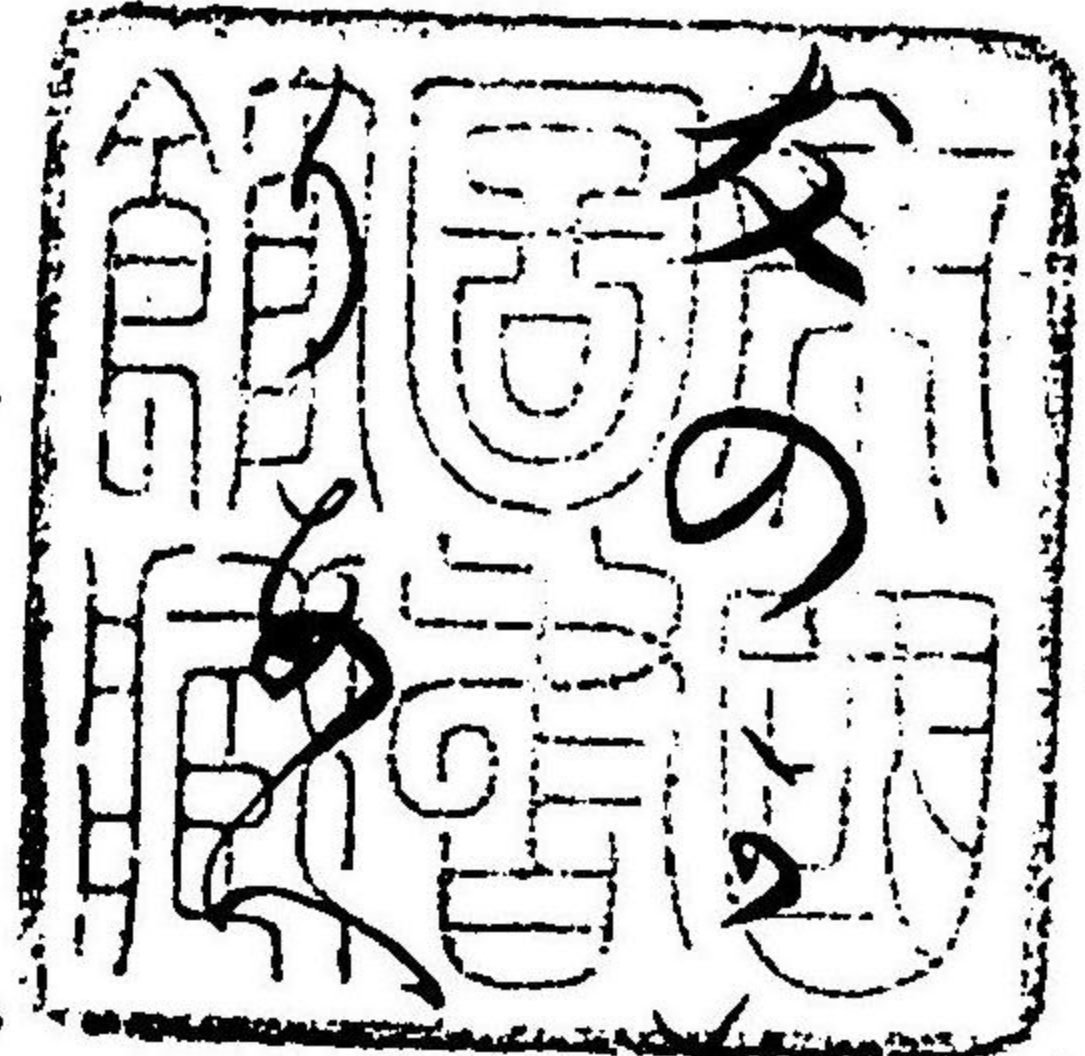
尾張梶谷社藏

お葉にのりまわらぬ様



一昨年より今迄の間に

在りしものありしと



は、あつたものと

一昨年より今迄の間に

は、あつたものと

は、あつたものと

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of notes. The characters are fluid and connected, typical of a handwritten musical notation system. The text is arranged in a single column on the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of notes. The characters are fluid and connected, typical of a handwritten musical notation system. The text is arranged in a single column on the left page.

あはれにふりかへて
よみかへしきこひの
あはれ

明治三十一年九月九日

須川信行

春歌 附新季

新季

あはれにふりかへて
よみかへしきこひの
あはれ

日一〇了

あはれにふりかへて
よみかへしきこひの
あはれ

あはれにふりかへて
よみかへしきこひの
あはれ

年々々々

あはれにふりかへて
よみかへしきこひの
あはれ

素もよもひのちりてはるるにけり

貴賤迎年

かきつらむらひのちりてはるるにけり

旅中追念

あはれもよもひのちりてはるるにけり

新春月

あはれもよもひのちりてはるるにけり

新年霜

あはれもよもひのちりてはるるにけり

新春雪

あはれもよもひのちりてはるるにけり

あはれもよもひのちりてはるるにけり

新年白

あはれもよもひのちりてはるるにけり

新年山

あはれもよもひのちりてはるるにけり

海路新年

うきなみあそびに他よみくらしをくらしにあらはせしむるは

新更海

遠く舟にこころをのこるはなほしづかにあそぶるは

新年酒

のまぬけなまきたかきとあそびに酔ひあそぶるは

新年お妓

あつたのまきとは舞ひあそぶ神よりあそぶるは

まじりて征伐のふかあり

御軍はまじりてあそぶるはなほしづかにあそぶるは

早春月

あそびにまじりてあそぶるはなほしづかにあそぶるは

早春風

あそびにまじりてあそぶるはなほしづかにあそぶるは

早春歌

あそびにまじりてあそぶるはなほしづかにあそぶるは

遠山羽霞

とやまの山をのりてゆく雲の影をみる

野外霞

はらけの空をのりてゆく雲の影をみる

行路霞

旅人の心をなやませる雲の影をみる

湖上霞

湖の水面をのりてゆく雲の影をみる

江上霞

おんなの心をなやませる雲の影をみる

流上霞

流の水面をのりてゆく雲の影をみる

渡上霞

わたりを渡る雲の影をみる

空上霞

しんがらをのりてゆく雲の影をみる

招上書

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

雨後書

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

警束出谷

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

關左谷

おはよう

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

普書

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

年普書

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

時文書

おはようございます。お元気ですか。お返事ありがとうございます。

羽書

知子ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

夕景

秋の夕景ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

夕家景

夕景ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

閑庭景

閑庭ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

観白七やうりてあるはるる

閑庭ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

尋若菜

閑庭ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

若菜火

閑庭ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

春雪

閑庭ありあまらむいよまていよぬ、庭ありはるるさるる

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

東春の陣のまはりのしるし

おぼろげにやまの影をみればはなはなをみればはなはなをみれば

山家詩雪

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

庭残雪

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

竹石残雪

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

月影梅

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

雪中梅

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

行路夢

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

あはれなるはなをみればはなはなをみればはなはなをみれば

海鳥梅

海鳥梅の香気は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

山家梅

山家梅の香気は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

古宮梅

古宮梅の香気は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

梅蓋枕

梅蓋枕の香気は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

浦田より来る言の葉

浦田より来る言の葉は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

天城山

天城山の風は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

丸山

丸山の言の葉は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

淡梅

淡梅の香気は、清らかなるる梅の花の香気と異なり、

月お柳

月夜に柳の影を照らす

風お柳

風が柳の葉を揺らす

柳風静

柳の風は静かである

田舎柳

田舎の柳は古びた

田舎の柳は古びた

川お柳

川に柳の影を映す

橋お柳

橋に柳の影を映す

川お柳

川に柳の影を映す

柳花若緑

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

Handwritten cursive text, likely a title or chapter heading.

離去草

さびしく暮ればはたかねくしつれあはれしそ

山崎子歎

たゞたゞとあはれむはらの秋よりいよかへてあはれむ

春月梅寒

よるゆけきの神をいふ梅のうきもむしほはあはれむ

雪後春月

ほろろの雪をいふ梅のうきもむしほはあはれむ

あまあま

あまあまのうきもむしほはあはれむ

あまあま

あまあまのうきもむしほはあはれむ

あまあま

あまあまのうきもむしほはあはれむ

あまあま

あまあまのうきもむしほはあはれむ

若林結月

お春の木のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

鎖倉と春の夜をよみよみ

春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

春曙

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

春曙

春風

けしきよく春はよき日なほのちのちよき日なほのち

初春角

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

春角

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

お春の夜のしほはしのさくはらばらけの春の風をよみよみ

喜 眠 少 雨

~~~~~

昔 喜 雨

~~~~~

旅 宿 既 可

~~~~~

昔 宿 既

~~~~~

宿 宿 既

~~~~~

夕 宿 既

~~~~~

海 上 宿 既

~~~~~

早 宿 既

~~~~~

深春の

Shinshun no

雨の中

Ame no naka

羽雲雀

Hanezumi

夕雲雀

Yūzumi

霞の中

Kasumi no naka

山寒花遅

Yama kanzakidoki

Shizumitsubomi

静見花

Shizumitsubomi

翫花

Kanabana

三才の徳を以て天下の道なり

嘆息

一往一復の道は常に心を動かす

羽心

心は空の如く常に清く静かに

ありては自然に徳を成す

板志

一往一復の道は常に心を動かす

深 板志

不変の道は常に心を動かす

花 下 歩 存

その道は常に心を動かす

返 漸 之 會 一 風 靜 意 筆 々

三才の徳

一往一復の道は常に心を動かす

その道は常に心を動かす

Handwritten text in cursive script, likely a title or the beginning of a section.

Handwritten text, possibly a subtitle or a specific reference.

Handwritten text in cursive script.

夜満山

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

養山記

Handwritten text in cursive script.

深山卷

Handwritten text in cursive script.

山路記

Handwritten text in cursive script.

雲水

Handwritten text in cursive script.

都巻

Handwritten text in cursive script.

東京名所拾遺

一から十まで

七

七

山家

一から十まで

京都部光社予會

松石

一から十まで

七

一から十まで

七

一から十まで

七

一から十まで

一から十まで

心と友

心と友は、世のうつろひに
あきらまざりて、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

砕後見書

砕け散る花びらの如く
静かに、静かに、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

心と友

心と友は、世のうつろひに
あきらまざりて、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

心と友は、世のうつろひに
あきらまざりて、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

心と友

心と友

心と友は、世のうつろひに
あきらまざりて、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

風あ落花

風あ落花、静かに、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

風あ落花、静かに、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

風あ落花、静かに、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

心と友

心と友は、世のうつろひに
あきらまざりて、静かに
生きてゆく。友は、心
の鏡である。友を知る
は、心を知る事なり。

心と友

ちりけりし後舟にりてかきとるるをいふは海鳥の鳴き声なり

いふは海鳥の鳴き声なり

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

海鳥の鳴き声

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

海鳥の鳴き声

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

野原

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

海鳥の鳴き声

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

海鳥の鳴き声

かたはるるをいふは海鳥の鳴き声なり

燕

一、燕の巣は、木の隙間に作られる。

鳥

一、鳥の巣は、木の枝や岩の隙間に作られる。

葉

一、葉は、木の枝から生える。

蛙

一、蛙は、池や沼に生える。

田

一、田は、水田で、稲を育てる。

春

一、春は、暖かい季節で、花が咲く。

鳥

一、鳥は、空を飛ぶ。

一、鳥の巣は、木の枝や岩の隙間に作られる。

鳥

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

暮暮草

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜湖

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜池波静

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜河

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜舟

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜旅行

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

喜茶と喜花のうらみ

かきつばたのうらみはさかすかすのうらみ

夏歌

首夏風

あさけさきほたるはなもゆるきこゆるけり

首夏雨

うつくしき花見ればあまのあけを若くおもふはよし
わづらうつくしきはあまの打ちたむらじつたをよめるはれ

首夏水

なごみとくきよなる水はあまのあけをよめるはれ

山家音反

山家音反の歌は古くは山家牧歌の体から

更衣

更衣の歌は古くは山家牧歌の体から

深山跡

深山跡の歌は古くは山家牧歌の体から

山新樹

山新樹の歌は古くは山家牧歌の体から

山新樹の歌は古くは山家牧歌の体から

庭新樹

庭新樹の歌は古くは山家牧歌の体から

庭新樹の歌は古くは山家牧歌の体から

嵐山新樹

嵐山新樹の歌は古くは山家牧歌の体から

灯花盛

灯花盛の歌は古くは山家牧歌の体から

夕水花

夕水花のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

溪舟花

溪舟花のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

野水花

野水花のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

籬野花

籬野花のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

新竹

新竹のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

新竹のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

新竹風

新竹風のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

松魚

松魚のつぼみは花のつぼみより花のつぼみより花のつぼみより

与女侍郭公

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of the previous page.

何開部

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

部

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of the previous page.

部

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

部

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

部

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

部

Handwritten text in cursive script, top line on the right page.

Handwritten text in cursive script, second line from top on the right page.

系合部

Handwritten text in cursive script, third line from top on the right page.

右青部

Handwritten text in cursive script, fourth line from top on the right page.

部

Handwritten text in cursive script, fifth line from top on the right page.

Small handwritten mark or signature at the bottom of the right page.

Small handwritten mark or signature at the bottom of the left page.

Handwritten text in cursive script, top line on the left page.

部

Handwritten text in cursive script, second line from top on the left page.

遠揚

Handwritten text in cursive script, third line from top on the left page.

早苗

Handwritten text in cursive script, fourth line from top on the left page.

Handwritten text in cursive script, fifth line from top on the left page.

梅雨

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

梅雨久

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

田家梅雨

田家

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

海道梅雨

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

市中梅雨

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

名所梅雨

雨の降るは春の暮れに似たり梅の花は雨に似たり

閑居梅雨

~~~~~

旅梅雨

~~~~~

梅雨晴

~~~~~

~~~~~

氣場花

~~~~~

水鏡

~~~~~

~~~~~

月あき鏡

~~~~~

秋雲

~~~~~

風前雲

ふらふら風よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

橋 菅

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

橋 菅

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

水 邊 菅

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

菅 火 照 舟

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

夏 夜 月 明

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

沼 底 夏 日

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

水 邊 夏 日

あふらふ外よそよそと吹くかたき夜よそよそと吹く

水 邊 夏 日

しつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

漁村の夜日

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

竹の夜日

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

夏夕涼

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

夏麦

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

夏草涼

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

夏草風

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

夏草涼

あつとてかまのたは境のふち日輪は——うらり

聖友字

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

山路夏草

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

冬鳥五斗

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

古柳川北新館

冬人

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

牧道火

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

蟬

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

雨後蟬

あはれみこころのこころをこころにこころをこころに

樹陰蟬

蝉鳴樹陰裏  
 風送柳花飛  
 草長鶯聲老  
 日長燕子歸

善港 十  
 福榮山

日長燕子歸  
 草長鶯聲老  
 風送柳花飛  
 蟬鳴樹陰裏

萍

萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍

萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍  
 萍

蓮

十一

蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮  
 蓮

室 扇

室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室  
 室

扇 又 舞 手

扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇  
 扇

新 雨

新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新  
 新

夕 立

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに  
まはるる中よりたのむるまはるるまはるるまはるる  
まはるるまはるるまはるるまはるるまはるるまはるる  
まはるるまはるるまはるるまはるるまはるるまはるる

夕立風

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

行路夕立

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

遠村夕立

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

詠名夕立

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

水信夏

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

水風涼

あやふかき道にゆく一かた一色なきのまはるるに

水聲涼

山嵐はくさくさたるくさくさたる水の音も涼し

松風涼

一葉の音も涼し松の音も涼し

避暑

涼しい避暑の地

涼しい避暑の地

静かな避暑の地

秋の涼しい避暑の地

月前納涼

月夜の涼しい避暑の地

橋細涼

橋の涼しい避暑の地

川筋涼

川の涼しい避暑の地

橋場比伊達家了と川筋細涼と



~~~~~

~~~~~

海邊の涼

~~~~~

舟の涼

~~~~~

名古屋の涼

~~~~~

~~~~~

樹陰の涼

~~~~~

~~~~~

吃夏の雨

~~~~~

田舎の晩夏

~~~~~

夏はさして

たしなむるはむらさきくさのつゆに

夏風

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏雷

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏市

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏花

夏井

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏白雲

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏はさして

夏雷

あつたうらむるはむらさきくさのつゆに

夏花

~~~~~

夏 蝶

~~~~~

夏 車

~~~~~

夏 旅

~~~~~

~~~~~

~~~~~

夏 夏

~~~~~

来 寢 夏 稀

~~~~~

~~~~~

京 都 北 路 言 一 七

ふかき秋の夜は静か
きつねのうたをきくと
こころはなごむ

秋歌

立秋衣

あきのはつをききとてたてをうらむる
あきのはつをききとてたてをうらむる

新秋雨涼

あきのはつをききとてたてをうらむる
あきのはつをききとてたてをうらむる

新秋露

あきのはつをききとてたてをうらむる
あきのはつをききとてたてをうらむる

新秋旅

あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風
新 咏 法

叶のちやくんちりなきをみし市人たけしうらまをたたりしけりね
さきよけのめえんをたれしうらまをたたりしけりね
あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風

か茂川にありてて早秋哉

いづれぞ

あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風

早 凉

あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風
風 奇 秋

あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風
小秋原にありてて早秋哉

秋 露

あはれものゝとてたゞうゝとあはれはけりし秋はさる風

野 秋

水邊に秋の意ありて
水邊に秋の意ありて

水邊秋

水邊に秋の意ありて
水邊に秋の意ありて

閑庭秋

閑庭に秋の意ありて
閑庭に秋の意ありて

秋秋秋

秋秋秋の意ありて
秋秋秋の意ありて

秋秋秋

下草に秋の意ありて
下草に秋の意ありて

草の意ありて
草の意ありて

草の意ありて
草の意ありて

風前女節花

風前女節花の意ありて
風前女節花の意ありて

山路に節花

山路に節花の意ありて
山路に節花の意ありて

以雜羽顔

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

風前薄

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

有郷薄

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

かきつばたのうらみはさき

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

り路蘭

扶

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

夕露

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

秋風

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

川秋風

かきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさきかきつばたのうらみはさき

池秋風

遠き所の秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

故郷秋風

ふるさとをよほす秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

山家秋風

山家の秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

折了らむ

折了らむ秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

深板書

深板書秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

日あき

日あき秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

雨の中

雨の中秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

海鳥

海鳥秋風もよほるあきまはさかきつるかなるの心ぞおもはれ

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

松邊一虫

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

系底書

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

獨字書

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

羽鹿

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

書鹿

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

故郷鹿

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

山家鹿

Handwritten text in cursive script, likely a list or entry.

甲家書

から 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

獨 中 暮

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

林 示 苑 秋 興

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

山 路 秋 夕

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

山 中 秋 夕

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

海 邊 秋 夕

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

秋 夕 旅

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

秋 友

夕 暮 庭 暮 秋 夕 旅 山 路 秋 夕 林 示 苑 秋 興

秋 雨

~~~~~

秋時雨

~~~~~

待月

~~~~~

獨見月

~~~~~

懸月

~~~~~

北野此明月了 觀明月と

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

舟中看月

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

對月

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

待月

米

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

十六夜月

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

望月

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

望月

いづれか
あつたひは
あつたひは
あつたひは

野月露

一 峯のふもとにはあられのこぼれと月影をまじへたる

野月露深

かきまはたらくらひのうらみかき月影のうらみかき

橋と夜

あけのぼりかきつるまはたはのぼりかきつるまはたはのぼりかき

河舟

かきまはのるまはたはのるまはたはのるまはたはのるまはたは

湖と月

扶え

うらみかきつるまはたはのぼりかきつるまはたはのぼりかき

池と夕

かきまはのるまはたはのるまはたはのるまはたはのるまはたは

名実あり一ま相浦家と

池上月と夕

かきまはのるまはたはのるまはたはのるまはたはのるまはたは

水上月

かきまはのるまはたはのるまはたはのるまはたはのるまはたは

月照海

月影をたづねては 海に照らす月影

明月満ち川

川に満ちてゆく月影は 海に照らす月影

海上月

海に照らす月影は 海に照らす月影

月満ち

月影をたづねては 海に照らす月影

鶴田にやうとて海邊月

月満ち

月影をたづねては 海に照らす月影

月満ち

月影をたづねては 海に照らす月影

月満ち

月影をたづねては 海に照らす月影

旅宿

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

結白月

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

月北より言命本屋町

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

望久後序

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

月涼秋思

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

月あ雲

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

うああさ

あつらひのちかはるるにやうくしらべふはむかしより

月あ終り

うたはしめ月のみつりてあひくさうにねたねたをいふまはるる

京都了ありるるお鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

晴初鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

薄暮鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

伏上

月お雁

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

風お鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

霧中鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

海と鷹

あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹あはれお鷹

曉擣衣

あけぼののけしきをききながら衣を擣むる

浦擣衣

あけぼののけしきをききながら浦に衣を擣むる

曙鳴

あけぼののけしきをききながら鳥を鳴らす

夕鶉

あけぼののけしきをききながら夕に鶉を鳴らす

あけ

夕鶉

あけぼののけしきをききながら夕に鶉を鳴らす

あけぼののけしきをききながら

あけ

あけぼののけしきをききながら

栽菊

あけぼののけしきをききながら菊を栽むる

観菊行會

今宵の月を眺めながら思ふに
昔の月を眺めながら思ふに

竹宴一宵と菊を映月と

よ題をききけりるるよ

たゞもほりける

つたふらふらとあふらふらと
つたふらふらとあふらふらと

葉をよこす一物

よのちをねりてはつと
よのちをねりてはつと

菊の花をよ

月を眺めながら思ふに
月を眺めながら思ふに

の 葉

つたふらふらとあふらふらと
つたふらふらとあふらふらと

岩 花 葉

つたふらふらとあふらふらと
つたふらふらとあふらふらと

庭 花 葉

つたふらふらとあふらふらと
つたふらふらとあふらふらと

籬 小鞠

籬花のつぼみは小鞠の花より少し大ききものなり

垣 小黄菊

垣花のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

紅葉

紅葉のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

尋 紅葉

尋花のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

日老了 小菊のつぼみ

日老了のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

雨 小菊

雨のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

遠山 小菊

遠山のつぼみは小菊の花より少し大ききものなり

高尾比地蔵のつぼみ

谷 小菊と小菊

リヨ一ノヨクニカハシクナリ
正 為 舞

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
如 造 紅葉

一ノヨクニカハシクナリ
庭 紅葉

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
松 中 為 葉

松 中

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
社 為 葉

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
深 屋 為

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
秋 霜

カキコトハコノチヨクニカハシクナリ
暮 秋 月

あつらう—おろちたさうり秋をそ—いふはうと—雁のあふ

善 秋 雨

たひげりふらふらとさき山たの—わ—たさうり秋の節

山 寺 義 秋

のけしるふわの古き阿婆たさうり—あ—いふはうと

田 家 善 秋

のけしるふわの古き阿婆たさうり—あ—いふはうと

善 秋 庭

いふはうと秋の節のいふはうと—いふはうと—いふはうと

善 秋 虫

あつらう—おろちたさうり秋をそ—いふはうと—雁のあふ

秋 水

あつらう—おろちたさうり秋をそ—いふはうと—雁のあふ

あつらう—おろちたさうり秋をそ—いふはうと—雁のあふ

あつらう—おろちたさうり秋をそ—いふはうと—雁のあふ

秋 庭

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

秋城

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

秋城

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

秋城

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

秋城

秋城

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

秋城

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

128
197

秋
三
十

